

指 定 管 理 者 評 価 シ ー ト

所 管 課	健康福祉部 長寿・保険室 長寿・介護保険課
評価対象期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日

施 設	名 称	川西市緑台デイサービスセンター
	所 在 地	兵庫県川西市緑台6丁目1番地の79
	設置目的	在宅の虚弱老人等に対し、通所の方法により各種のサービスを提供し、その福祉の向上を図るため、在宅老人の援護施設を設置する。
	利用料金制	非利用料金制・ <u>一部利用料金制</u> ・完全利用料金制
指 定 管 理 者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所 在 地	兵庫県川西市火打1丁目1番7号
指定業務の内容	<p>(1)老人福祉法第5条の2第3項に規定する老人デイサービス事業であって、通所の方法による入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練、介護方法の指導等に関する事。</p> <p>(2)デイサービスセンターの利用に関する事。</p> <p>(3)施設の利用料の徴収及び減免に関する事。</p> <p>(4)デイサービスセンターの施設及び付属設備の維持管理に関する事。</p> <p>(5)そのほか、市長が必要と認める業務に関する事。</p>	
指 定 期 間	平成24年4月1日～平成29年3月31日	

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
1施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		
(1)施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		
① 事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。	A	①ケアマネジャーのケアプランに基づいて、通所介護サービス及び介護予防通所介護サービスの提供を行うことができました。	A	①②通所介護サービス及び介護予防通所介護サービスを提供するとともに、民間施設では受け入れが困難なご利用者の体験利用を積極的に受け入れて新規利用につなげておられます。 ③居宅介護支援事業所への空き状況の情報提供や、見学者等にパンフレットの配布による情報提供を行い、利用者増に向けた努力をされています。	デイサービスの激戦地で事業をされており、他施設で受け入れが困難な利用者へも対応していかなければなりません。
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	A	②社協が運営するデイサービスとして、他施設では受け入れが困難なご利用者の体験利用を積極的に受け入れて新規利用につなげました。	A		
③ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	A	③社協が運営するデイサービスのため、民間圧迫の観点から必要以上の営業や広報活動はできませんが、居宅介護支援事業所への空き状況の情報提供や、見学者等にパンフレットの配布などを行い情報提供を行っています。	A		
改善項目					特にありません。

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
(2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		
① 施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	①在宅で生活する要支援・要介護を有する方への送迎・入浴・交流の場としてサービスを提供しており、ご本人の気分転換やご家族の介護負担の軽減に努めてきました。	A	①民間施設では受け入れが困難な利用者が利用しており、一定の評価ができます。	デイサービスセンターは供給過多の状況にあり、利用者の獲得は困難ですが、様々なアイデアを出して独自の取り組みを行っていただください。
② 実施された事業への参加者数の増が図られたか。	B	②新規利用者は前年度に比べ増加したものの、入所や転居、長期入院や死亡が多く、年間累計利用者数が5192人から5009人になり、1日平均は17名から16.3名に減少しました。	B	②デイサービスの延べ利用者は減少していますが、新規利用者は前年度に比べ増加しました。	
改善項目		ケアプランに沿ってケアマネジャーと密に連携を取りながら、ご利用者が休みの場合に曜日を振り替えたり、施設行事に参加したいと希望のある方は違う曜日でも追加でご利用できるように対応し、ご利用者増につなげていきます。		利用者の休みの希望や振り替えの希望に沿うように柔軟に対応して利用者の増加につなげてください。	
(3) 利用者の満足度	A		A		
① 利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	①今年度は苦情はありませんでした。	A	②③実施したアンケート結果をもとに職員で検討会を行い、職員全体で情報共有することでサービスの向上に努力されています。	特にありません。
② 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。	A	②アンケートを1月に行っており、レクリエーション・入浴・食事・職員に関して、ご利用者のご家族からおおむね満足の評価を得ることができました。	A		
③ 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取り組みがなされたか。	A	③実施したアンケート結果をもとに職員で検討会を行い、ご利用者やご家族の意見や要望を職員全体で共有し、さらなるサービスの向上につなげています。	A		
④ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取り組みがなされ、その効果が得られたか。	A	④緑台デイの特色に、まり作りや編み物、アクセサリ作りなど手芸を行っており、ご利用者の皆様に喜んで頂いています。	A		
改善項目					特にありません。

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	A		A		
(1) 経費の節減	A		A		
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A	①②施設内の電球や蛍光灯などを間引いたり、エアコンの温度設定をこまめに調整して、電気代の削減に努めてきました。またご利用者が少ない場合、必要に応じて職員の配置体制を減らし、人件費の削減を行いました。	A	①②サービスの低下とならない範囲の中で、軽費の削減に努めています。またご利用者が少ない場合、必要に応じて職員の配置体制を減らし、人件費の削減に取り組まれました。	特にありません。
② 指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。	A		A		
改善項目				①LEDの設置を行い、サービスの質を維持しながら経費削減に取り組んでください。	特にありません。
(2) 収入の増加 ※利用料金制を採用している場合のみ評価	B		B		
① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	B	デイの空き状況の情報や広報誌を居宅介護支援事業所へ提供し体験利用につなげたり、他施設では受け入れが困難な方の利用をつなげて、新規利用獲得に努めてきました。前年度と比較すると新規利用数はほぼ変わりませんが、複数回利用するご利用者の契約解除や長期の入院が多く、月平均の利用者数が17名から16.3名に減少となりました。	B	居宅介護支援事業所へ情報提供を行い、また他施設では受け入れ困難な方を受け入れることで、新規利用獲得に努力されています。	特にありません。
改善項目		ボランティアや様々な行事などに参加希望される場合は追加利用につなげたり、事前にキャンセルがわかった場合は、ご本人・ご家族やケアマネジャーと相談の上、振替利用につなげるなど、収入を確保していく必要があります。		ケアマネジャーと連絡を密に取り、利用者の追加や振り替えに対応し、収入の確保を行ってください。	特にありません。

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
(3) 収支のバランスなど ※利用料金制を採用している場合のみ評価	A		A		
① 収支のバランスが適切であったか。	B	①利用者が1日平均0.7名減り、本年度の収入が約410万円の減収となり、支出では約350万円の減額のため、差し引き60万円の減収となりました。 ②③備品の購入の節約や節電・節水を心がけ、効果的・効率的に執行されていたと思います。	B	①利用者数の減少により収入が減少し収支のバランスを図ることは難しいと思われます。 ②③経費節減に取り組み、器具什器費の削減が行われました。	特にありません。
② 経費の効果的、効率的な執行が行われたか。	A		A		
③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。	A		A		
改善項目		利用者数の減少に伴い減収になっており、利用者増が必要になります。そのためにも併設されている緑台老人福祉センターのご利用者の介護相談を受けるなど、利用の促進を図っていきます。		利用者増のため併設されている緑台老人福祉センターの利用者の相談を受け、デイサービスの利用へつなげて利用者促進を図ってください。	特にありません。
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		
(1) 管理運営の実施状況	A		A		
① 施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。	A	①事前に利用者の増減がわかれば、その利用者数に応じて、職員の人員配置を増減し、勤務体制を変更しています。 ②感染症や食中毒対策・認知症研修など内部・外部の研修に参加し、職員同士が共有し、資質向上を行っています。 ③定期的に消防設備点検・特浴清掃・共用電気設備・空調・ボイラー・貯水槽の点検を適切に行い、施設の維持管理に努めています。 ④地域の民生委員や各種団体の役員さん、ケアマネジャー及び施設の共働により、認知症を患っている独居のご利用者様の近隣トラブルの解消に向けて取り組みを実施しました。	A	①利用者数に応じて、職員の人員配置できる勤務体制にあります。 ②内部・外部研修に適宜参加されています。 ④地域の関係者と協力し利用者の近隣トラブルに対応されています。	特にありません。
② 業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A		A		
③ 施設の維持管理が適切に行われたか。	A		A		
④ 指定管理者の提案による新たな取り組みは実施されたか。	A		A		
改善項目					

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		
① 施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。	A	<p>①毎月発行のデイサービスセンターの広報誌を居宅支援事業所やご利用者の皆様に配布したり、見学に来られた方にはパンフレットの配布を行い広報活動に努めています。</p> <p>②契約時に個人情報使用同意書に署名して頂き、救急搬送の対応時や担当者会議での情報提供に必要なご利用者の情報に使用するように適切に取り扱いが行われています。</p> <p>③日々の業務を遂行する中で、事故防止の観点からヒヤリハット等を活用し、職員間での情報の共有を図り事前の事故防止に努めました。</p> <p>④消防訓練を消防職員の指導のもと年2回実施し、有事の際に職員それぞれの役割を自覚しながら効果的な避難訓練が行われました。</p> <p>⑦ケアマネジャーより体験や新規の依頼があれば、送迎や身体状況に応じて、ご利用者の受け入れを行っています。</p>	A	<p>①②③④広報活動を積極的に行っており、個人情報の取り扱いも適切に行われています。また職員間でヒヤリハットを活用して日常事故の防止に努めています。</p>	特にありません。
② 施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。	A		A		
③ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	A		A		
④ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。	A		A		
⑤ 事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。	A		A		
⑥ 利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。					
⑦ 利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。	A		A		
改善項目					特にありません。

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
総合評価	A	今年度は空調やボイラーの故障は一切なく、施設の管理運営を行うことができました。介護保険が改正され、一年が経過しましたが、ご利用者やご家族、居宅介護支援事業所などの関係機関とも特に大きなトラブルもありませんでした。今後も社会福祉協議会運営のデイサービスセンターとして、民間施設では利用が困難な方の受け入れを行い、セーフティネットとしての役割を果たせるようにして参ります。	A	民間施設で対応困難な方の受け入れを行っており、セーフティネットの役割を果たしています。	昨年指摘した、AED等の研修がすべて実施されており、評価できます。
改善項目		当所としての課題は利用者数の増を図ることです。今後も今まで行っていたケアマネジャーへの空き情報の提供を続けることや、地域としてのつながりを利用したの広報活動を行います。また職員の内外研修の充実を図り、デイサービスセンターの独自性を出せるよう考えていく必要があります。		利用者の減少により収支バランスが崩れています。今後利用者増を図るため、広報活動や研修に取り組んでください。	デイサービスセンター全般にわたり、競争が厳しい中での存続が課題です。加えて正規職員、非正規職員とも少ない中で職員の資質の確保が課題です。